

校長室から応援メッセージ⑨

令和4年2月22日（火）

「受験の最終日程が近づいてきました」

山梨予備校で学ぶ生徒の皆さん、いかがお過ごしですか。自習室を閉鎖せざるを得ない期間が予想外に延びており、皆さんには本当にご迷惑をおかけしています。二月も残り一週間となりました。いよいよ国公立大学の前期入試が近づいてまいりました。

下の新聞記事ですが、「受験は水もの…」という、「受かるか受からないかは予測がつかないものだ」という意味に解釈されるのが一般的ですが、この記事では意味が少し違います。いくつかの大学を受験し、合格した大学が何番目の希望の大学であっても、そこで過ごす学生生活は、かけがえのないものになります。この記事の作者は今この自分が最高に好きだから、その気持ちのまま自分の学生時代を振り返っています。

「受験は水もの」とは、自分が直面する分岐点でどの道を進むのがよいのかということ、後になってから振り返ってみた時に初めてわかるのだということです。進む前は誰にもわかりません。私たちにできるのは、「今ここでがんばる」ことです。将来を見通そうとして不安になるのではなく、最後の最後まで駆け抜けるように無心でがんばることです。私も最後の最後まで、はるか彼方の校長室から皆さんをそっと応援しています。

---

新聞記事は、省略します。

「受験は水ものだからね」

～ 指先からソーダ（山崎ナオコーラ）～